



▲ **福富小6年、地域食材活かした弁当作り**

12月11日、福富小学校6年生が地元特産の食材を使った6種類の弁当を作り、JAにじ農産物直売所「にじの耳納の里」に展示しました(写真)。弁当には柿の肉巻き豚のショウガ焼きなどのおかずが入って、「うきはの愛情たっぷり弁当」などと手書きしたポップも並べました。



▲ **豪雨災害復興支援イベント「SUSUMU」**

12月17日、市役所西側広場で九州北部豪雨で被災された朝倉市・東峰村等の農家や店舗等を招き復興支援イベント「SUSUMU」(ススム)が開催され、市内外から多くの人々が訪れました。熊本地震復興支援で2回開催され、今回3回目の開催となりました。



▲ **浮羽中「学校給食優良学校優良賞」受賞**

地産地消、弁当の日、和食給食の推進などの取組で健康教育の研究実践に尽力したことにより、学校給食優良学校優良賞が浮羽中学校に県教育委員会から贈られました。(写真=12月11日・同校ランチルーム、左から：高倉満校長、宇野典子栄養教諭)



▲ **浮羽究真館高校生徒会による議会傍聴**

全国初の18歳選挙となった一昨年のうきは市長選を契機に、本市では浮羽究真館高校と連携して、主権者教育の推進に努めています。今回、同校生徒会が「政治的教養を育む学習」として12月11日、うきは市議会定例会の一般質問を傍聴しました。



▲ **うきは筑後川温泉花火大会**(12月22日)P14参照



▲ **棚田オーナー制度「もちつき体験」**

12月17日、日本棚田百選つづら棚田そばのつづら山荘で棚田オーナーが参加して、杵と臼を使った昔ながらの餅つきが行われました。ついた餅は、正月前に「ふるさと直送便」として棚田米とともにオーナー宅(今期83組)に送られました。